



「設立10周年記念式典を終えて」

NPO法人よつ葉福祉会 理事長 井端智子

新年、明けましておめでとうございます

います。皆様方には、幸多き新年を

迎えられた事とお慶び申し上げます

す。昨年は当法人の10周年記念式

典の開催にあたり、関係機関の皆様

はじめ行政の皆様、地域の皆様方に

は大変お世話になりありがとうございました

いました。

早いもので、私の故郷であります

このかつらぎ町に法人を設立して、

無事10年を迎えることが出来まし

た。そしてこのたび、10周年記念

式典を無事終えることができました

のも皆様方のお陰と感謝しております

す。

当法人は、平成17年11月9日

「障害者・高齢者福祉事業所とし

て、地域に根ざし、地域とより良い

関係を築き、福祉に対する理解と協

力を仰ぎながら、地域に貢献するこ

とを目的」とし開設しました。そし

て「自立に近づけ」「未来につなげ

る」の理念のもと10年間活動して

参りました。私たちの法人は、作業

所からのスタートではないため、利

用者さんが定員いっぱいになるこ

ともなく、収入が少ないため、10

年の間には、経営状態が悪く理事や

役員からの運転資金の借り入れを

行ったり、職員の給料カットを行っ

たり、給料の支給を遅らせたり、経営

に四苦八苦したことも多々ありまし

た。また地域の方々に私たちの活動を

理解してもらえず、人のバリアや地域

のバリアに涙し、自分たちのしている

活動に戸惑うこともありました。さら

に、利用者さんに対する支援の上でも、

常にいろいろな課題に遭遇しながら、

そのたびに「自分たちにできること

を・・・」「私たちの理念により近い展

開を・・・」と考えながら職員一同努

力を重ねて突き進んできた10年だっ

たと思います。



理事長式辞

10周年記念式典を終えてふと立ち止まった時、人に支えられて迎えられた10年であることに改めて気づくことができました。そして、福祉は

「人」が「人」を支えている事を再認識することができました。

今後の10年を考えると、やはり

「人」の大きさ、大切さを感じます。

私が今大切に思うことは、

・どんな時でも利用者さんの尊厳と人

権は最優先し守ること

・サービス提供の質を高めていくため

の努力をすること

・職員同士が信頼関係を持ち、お互い

に成長できる職場作りと仲間作り

をすること

・福祉的課題を持つ人達の良き相談役になること

・福祉的課題を持つ人たちの、「人権

が尊重される」こと

・福祉的課題を持つ人たちの、「生活

の質が高められる」こと

・福祉的課題を持つ人たちが「自己実

現」できるような地域づくりをする

こと なのです。

この気持ちをもとに、もう一度良く考

え、整理したうえで、今後私たちが進

むべき基本方針と目標を確立してい

くことが必要であると考えています。

よつ葉福祉会の利用者さんが、また地

域で課題を抱えているすべての人が、

「笑顔」で「楽しく」「夢」を持ちな

がら生活できるように、自分たちの役

割を考えながら活動していきたいと

思っています。

私たち、よつ葉福祉会職員一同、1

0年の節目を契機に、より一層の努力

をしてまいりますので、今後とも皆様

のご指導、ご支援を賜りますようお願い

申し上げます。



かつらぎ町長 祝辞



記念講演(小林茂夫様)



人権芸術鑑賞会
(稲岡満男&音楽工房様)

あんびお（就労継続支援A型事業所）廃止について

ソプラス 統括所長 井端郁人

昨今、介護人材が不足している

といわれ、団塊の世代が75歳以上の

後期高齢者となる2025年、厚生労働省が出した「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計（確定値）」について」によると介護業界では37,7万人の人材が不足するといわれています。当法人においても高齢介護分野での人材が不足しており、障害のある方がサービスの受け手としてではなく、サービスの提供の担い手として社会参加し、高齢介護分野での人材不足を解消していくことを目的として、平成22年4月より、介護保険法に基づく通所介護（デイサービス）と就労継続支援A

型事業を同時に開所しました。

障害者の働く場として「介護業務」に特化し、就労支援と介護人材不足の解消に向け、その一翼を担ってきました。これまで13名の方が就労継続支援A型として利用していただき、7名の方が利用後にヘルパー2級または居宅介護職員初任者養成研修2級課程を修了され、専門職として活躍されてきました。中でも3名の方が介護職として一般就労され、現在も2名の方が継続就労しています。開所より、障害者の働く場を創出することを目的とし、皆様の

ご支援とご協力により、5年間その役割を果たして参りました。

しかしながら、平成26年6月に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が成立し、介護保険法などの改正案がまとめられました。当事業所においては、障害者の働く場としての目的や改正法の内容、事業所の財務状況等を踏まえ、運営についてあらゆる方策を検討して参りましたが、十分な審議をした結果、平成28年1月をもって通所介護事業及び就労継続支援A型事業を廃止するという苦渋の決議を致しました。

平成27年9月にはA型の利用者及び家族への説明会を開催し、その後の進路についてご検討いただきました。進路が確定し新たにスタートされている方もいますが、現在次のステージに向け支援を行っているところです。また、通所介護の利用者及び家族には個々で説明を行い、担当のケアマネージャーに随時、他の事業所への移行にご尽力いただいています。

今後、あんびおの建物をてんとう虫（生活介護）の従たる事業所として指定を受け、少人数での活動が必要な障害のある方の日中活動の場として運営します。今後ともご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。

よつ葉福祉社会からのお知らせ

和遊協社会福祉事業協力会様より助成をいただきました

このたび、和遊協社会福祉事業協力会様より、生活介護事業を行う「てんとう虫」に余暇活動のための備品一式として、20万円相当の46型液晶テレビ、ディスクレコーダー、カラオケ装置をご寄贈いただきました。通所していただいている利用者様は、日々作業活動に取り組み、余暇活動ではこれらの備品を使わせていただき、楽しく活動に取り組まれています。ご寄贈いただいたことに感謝しながら、今後もより良い支援に取り組んで参ります。

(理事・事務局長 大矢哲司)

離転職者等職業訓練「介護初級科」を開講しています

ケアスクールひと葉では和歌山県から事業受託し、介護員養成研修介護職員初任者研修課程の資格取得を目標に、離転職者職業訓練「介護初級科」を開講しています。

訓練期間 平成27年12月10日～平成28年3月9日

実施人数 13名

現在訓練中の受講者はハローワークより受講あっせんを受けています。

本研修を修了した後は、介護・福祉分野を中心に就職することを目指します。

(ケアスクールひと葉 井端)

新年あけましておめでとうございます。当法人では、平成21年より本誌1月号をもって、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。